



～ 夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

**第81号**  
平成31年4月17日

# 河津町議会だより



QRコード

## 平成31年 第1回定例会

- 町長の施政方針・行政報告..... 2～3
- 定例会(要旨)・議案の説明..... 4～5
- 予算審査特別委員会..... 6～7
- 一般質問..... 8～14
- 読者アンケート..... 15
- 一部事務組合報告..... 16～17
- 私も一言(板垣秀実さん)..... 18



河津中学校 生徒による桜合唱

# 町長の施政方針(抜粋)



**4つの重点テーマ**

① 子育て・教育環境の充実強化

中学生の体験交流事業(青山学院大学の協力)を創設し、幼児教育アドバイザーの設置や賀茂地区校務支援システム導入、また、各小中学校には、学習支援員や外国語支援員を配置し、教育環境の充実強化を進め、子ども達の健全育成に努める。

② 防災・減災対策

消防団活動の充実強化と災害緊急情報システムの導入、縄地地区への防火水槽設置など、町民が安心安全に暮らせる町づくりに努める。

③ 観光地としてのグレードアップ

伊豆縦貫自動車道インターチェンジ周辺地域振興計画、河津桜町づくりプランの策定、これからの地域振興ビジョンを示すとともに、情報発信の強化に努める。

④ 行政運営の効率化と開かれた行政への推進

第4次総合計画が2020年度で期限を迎えるため第5次総合計画策定支援業務委託料を計上し、2020年度中の策定を進める。また、広報紙やホームページの町民目線に立った内容の充実を図り、透明性のある行政運営を行う。

**●平成31年度予算の概要**

平成31年度の予算総額は61億4068万8千円となり、一般会計予算37億2800万円前年度比1300万円、0.3%の減となった。

歳入は自主財源15億2060万6千円、構成比40.8%、依存財源22億739万4千円構成比59.2%となった。

歳出は義務的経費13億9584万8千円、経常的経費33億2238万7千円、投資的経費1億4040万7千円となり、町民生活に密着した堅実・着実型の予算編成となった。

**【伊豆縦貫自動車道IC周辺地域振興計画策定業務】**

地域で行ったワークショップの結果を基に、集約された振興計画の要素を重点的に取り組み、事業メニューの策定を図る。また、「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の参画を得て、外部の若者視点での提言も組み入れる。

**【河津バガテル公園事業 再生事業】**

民間資本導入のため、参画企業の募集を行い2020年度から運営を行っていたただく企業を絞り込む予定。

**【移住就業支援】**

東京圏からのUIJタインの促進及び、地方の産業の担い手不足対策として、移住就業支援補助事業に取り組む。

**【地方公共交通対策】**

河津駅構内に、広域移動に必要な運行等の情報を提供する「情報表示板デジタルサイネージ」を設置する。

**【情報公開】**

町のホームページを、スマートフォンやタブレットにも対応した、利用しやすいページに改修する。また、公正な町政運営を進めるため町が行政の円滑な運営をするために支出している町長交際費の執行状況について、新年度4月分からを、毎月町ホームページに掲載し公開する。

**【健康事業】**

生活習慣の改善を実施する「ふじ33プログラム実践教室」を、夜間の回数を増やして開催し、多くの方が参加できる体制を整える。また、町民の健康意識の高揚、健康保持・増進を図るため、

**【介護保険事業】**

地域ケア会議、生活支援体制整備事業協議体を開催し、生活支援コーディネーターを中心に、サービス資源の発掘や、新しいサービスの構築をする。

**【有害鳥獣対策】**

鳥獣害対策専門員を配置し、効果的な被害対策の知識を普及させ、鳥獣被害の軽減を図り、農業者の耕作意欲の増進につなげていきたい。

**【学校教育環境整備】**

「将来を担う子供たちの為の小学校の在り方について」の答申に基づき、河津町立小学校統合準備委員会を立ち上げ、小学校の再編について検討する。

# 可決した平成31年度予算

議案第17号～24号			平成31年度当初予算(千円)	平成30年度当初予算(千円)
一般会計	議	費	55,005	55,152
	総務	費	671,712	619,172
	民生	費	830,638	831,908
	衛生	費	546,830	484,501
	農林水産業	費	145,340	146,935
	商工	費	353,582	381,741
	土木	費	148,737	156,999
	消防	費	267,432	309,165
	教育	費	352,964	408,402
	災害復旧	費	6	6
	公債	費	345,754	337,019
	予備	費	10,000	10,000
	小計			3,728,000
特別会計	河津駅前広場整備事業		4,386	4,501
	土地取得		870	896
	国民健康保険		1,169,299	1,201,074
	介護保険		1,066,646	1,029,677
	後期高齢者医療		112,304	112,048
	水道事業		225,543	234,160
	温泉事業		91,955	83,422
小計			2,671,003	2,665,778
重複計			258,315	250,772
純計			6,140,688	6,156,006

# 新規主要事業

- ・町ホームページの拡充…………… 8 2 5 万円  
モバイルに対応  
ソフト更新
- ・河津町第5次総合計画策定事業… 6 1 2 万円
- ・移住定住促進事業…………… 6 4 5 万円
- ・地域おこし協力隊事業…………… 1 1 2 0 万円
- ・賀茂地区航空写真共同撮影事業… 1 5 8 万円
- ・社会福祉事業…………… 8 1 7 万円  
民生児童委員改選推薦経費を含む
- ・緊急通報システム事業…………… 1 4 6 万円  
一人暮らし老人等の緊急事態に対応
- ・浜児童公園の維持管理…………… 1 6 0 万円  
公園トイレの洋式化
- ・放課後児童クラブ運営事業…… 1 0 8 2 万円  
町有施設利用修繕
- ・子ども医療費助成事業…………… 2 9 1 8 万円  
子どもの医療費無料化（高校生まで）
- ・健康づくり推進事業…………… 2 3 8 万円  
健康マイレージ事業を含む
- ・農業振興事業…………… 8 0 2 万円  
荒廃農地等対策事業費補助金を含む
- ・森林・林業振興事業…………… 2 2 1 4 万円  
森林整備地域活動支援交付金を含む
- ・観光振興事業…………… 3 6 5 0 万円  
観光P V制作委託を含む
- ・河津バガテル公園管理事業  
…………… 1 億 1 1 2 9 万円  
食用バラ試験栽培業務委託を含む

- ・観光施設整備管理事業…………… 6 8 5 1 万円  
観光施設情報発信システム移設委託  
出合滝遊歩道用地購入等を含む
- ・河津桜切り枝商品化事業…………… 4 5 万円
- ・橋梁維持事業…………… 1 6 9 8 万円  
道路ストック総点検調査業務委託料を含む
- ・消防操法大会事業…………… 9 3 7 万円
- ・防火水槽設置事業（縄地地区） 1 3 2 0 万円
- ・防災対策事業 …………… 1 3 3 4 万円  
災害情報収集システム運用経費を含む
- ・防災施設整備事業…………… 1 4 3 6 万円  
避難誘導看板・路面標示  
自主防災会施設整備費補助金等を含む
- ・学校統合準備委員会事業…………… 8 1 万円
- ・幼児教育アドバイザー共同設置事業 2 2 万円
- ・賀茂地域校務支援システム導入事業  
…………… 4 1 3 万円
- ・青山学院大学体験教室事業 …………… 4 4 万円
- ・小中学校 I C T 環境整備事業 2 0 1 2 万円  
南小教育用タブレット導入を含む
- ・中学校外国語学習支援員設置事業  
…………… 2 8 3 万円
- ・幼稚園運営事業…………… 1 7 7 6 万円  
預かり保育の拡充
- ・芸術文化推進・文化財保護事業… 7 8 7 万円  
町史編纂事業費を含む

## 平成31年 第1回定例会 3月5日～15日

# 第1回定例会議案（要旨）

平成31年度予算を決める第1回定例会が開催された。

議事は全37件、全会一致で可決された。

諮問案件1件、同意案件13件、条例案件7件、規約改正1件、指定管理3件、補正予算4件、新年度予算8件。

新年度予算は全議員で構成される予算審査特別委員会へ付託され、各課に説明をうけ質疑をおこない5日間の集中審査を経て、可決された。

新たに河津町選挙公報発行条例が制定され、その他条例の一部を改正する条例が可決された。

今定例会の傍聴者は11名で、一般質問は7名が行った。

●諮問第1号  
人権擁護委員の推薦の諮問  
坪井 由里子（梨本）

●議案第2号  
河津町選挙公報発行条例の制定  
飯田 守（見高）

●議案第8号  
河津町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●議案第13号  
平成30年度河津町一般会計補正予算（第6号）  
●議案第14号  
平成30年度河津町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

●同意第1号  
河津町農業委員会の委員の任命に係る認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の議会の同意

●議案第3号  
河津町国民健康保険条例の一部を改正する条例

●議案第9号  
静岡地方税滞納整理機構規約の変更

●議案第15号  
平成30年度河津町介護保険特別会計補正予算（第4号）  
●議案第16号  
平成30年度河津町後期高齢者医療特別会計予算（第2号）

●同意2～12号  
農業委員会委員の任命  
相馬 圭一（川津筏場）  
堀池 邦仁（縄地）  
田嶋 恒規（梨本）  
鈴木 敏雄（笹原）  
村木 貞一（峰）

●議案第5号  
河津町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●議案第10号  
今井浜海岸の休憩所の指定管理者を河津町観光協会に指定するもの（5年）

●議案第17号～24号まで  
31年度の予算は特別委員会に付託された意見書を附帯しすべて可決した。  
※委員会内の詳細は別ページ

長田 幸恵（川津筏場）  
後藤 美南子（沢田）  
土屋 訓司（峰）  
平川 茂美（大鍋）  
志賀 剛（峰）  
飯田 稔（見高）

●議案第6号  
河津町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●議案第11号  
河津桜観光交流館の指定管理者を河津町観光協会に指定するもの（5年）

●同意第13号  
教育委員会委員の任命

●議案第7号  
河津町指定地域密着型サービス事業の人員、設備

及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

●議案第12号  
河津町情報通信施設の指定管理者を伊豆太陽農業協同組合に指定するもの（5年）

# 平成31年度 予算審査特別委員会 3月7日から15日

**委員長** 上村 和正 **副委員長** 遠藤 嘉規  
**委員** 大川 良樹、桑原 猛、渡邊 昌昭、塩田 正治、仲 里 司、土屋 貴  
渡邊 弘、稲葉 静、宮崎 啓次

一括集中審議を議員全員で行い、活発な質疑が行われたのちに、原案可決された。

## 総務課

**質問** 災害情報収集システム使用料の説明を。

**係長** 災害時、被災箇所へ職員が出向き、GPS内蔵のスマートフォンやタブレットで撮影した画像が、災害対策本部室にあるPCのマップ上に場所や画像などの情報を同時にアップすることができシステム。

**課長** 迅速な情報収集を目的としている。GPS機能を搭載しているのが被災場所の正確な位置、状況が表示可能。テレビ会議機能により、現場と本部と会議することで情報を共有することも可能。

**質問** 総合行政情報システムのソフト使用料について平成29年度の11月から導入されたと聞いています。今回対前年比300万ほど増加しているが、何か新しいシステムが導入されるのか。

**課長** システムについて使用している。

**質問** 賀茂地域校務支援システム導入事業の説明を。

**事務局長** システムを導入し各市町でバラバラだった学籍管理、成績管理等を統一する事で先生が子どもと向き合う時間が増える。

**産業振興課** 施設情報発信システム移設委託料、ライブカメラの移設をするという事で、年間の保守点検料を含まないのにかなり多額に感じるが、カメラ等は含むのか。

**係長** カメラを含む。新しく構築する。普通のカメラと違って、誰が居るか特定させない仕掛けを入れたりその辺のシステムの更新をする。

**質問** 鳥獣害アドバイザの説明を。

**課長** 町の職員の手の回らないところを捕獲や現地調査を行ったり、

は、基幹システムと情報系システム、2システムで構成されている。戸籍や住民票、マイナンバーなど日常業務で扱っている基幹系システムは、法改正があると、改修が必要になるため、年によって上下する。

**健康福祉課** 地域型保育委託料が減っているが。

**課長** 子どもの数や0、2歳児を預ける方が減ったため。

**質問** 扶助費、児童手当の給付費、中学校3年生までもらえると思うが、前年に比べると420万円くらい減っている理由は。

**課長** 子どもの数の減。

**質問** 子ども医療扶助費、中学生までが、高校生までになった。

**課長** 決算を見ると繰越金が多く、状況を確認し

補助している電気柵の設置の指導など、その後の確認作業、相談事に対応してもらう。被害があれば現地調査をお願いする。

**建設課** 委託料の抑制区域図作成委託料の説明を。

**課長** 現在町内の抑制区域の説明資料が無い。抑制区域が農業振興地域の農用地区域や鳥獣保護区、自然公園法、文化財保護法区域、宅造エリア、砂防法の砂防区域、太陽光発電の抑制エリアなどあるが、地図上で1枚に納まった物が無い。それぞれ担当課に行かないとならない状況のため、1枚の図面の中で抑制エリアが分かるようにしたものを作成する。

**水道温泉課** 議会で毎年のように見高入谷に新たな水源をとと言う意見が出ているが着手するのか。

た。10月から高校生が無料化になったことで、半年分増えた形になっているが、実際に決算を打つとそんなに伸びなかった経過と、過去にも予算額まで達しなかったということ、今回金額を大幅に見直した。

**町民生活課** 31年度でエコクリンセンター改修工事が終わると、し尿処理場の改修に入ると思うが、31年度の中の動きがあれば教えてほしい。

**課長** 現在の施設は昭和63年竣工のもので、平成25年に検討した結果、改修の方向が示された。ごみ処理施設改修が完了後に、し尿処理施設を同じ場所に作るのか、どう運用するか、再度の洗い直しを行いどのような形で実施するか検討する予定。

**質問** 国民健康保険について、町民生活課が国保税を集め、健康福祉課が

まず、揚水試験として着手する。

見高入谷高原温泉付近の既存の井戸を揚水調査として深く掘削し揚水調査を行う予定。

水量によっては、配水計画を見直す。最低毎分500Lを期待したい。

**質問** 過去に温泉の源泉を探す空中調査を行っているはず。当時の資料を参考に水源を求めては。

**課長** 探査による過去の見高入谷掘削では、水道水には不適切な水質であった。今回は既存の井戸を増し掘りという水質的に確実な選択をした。現在の配水方法を変更し、効率的な計画変更が可能となれば、既存施設のダウンサイジングも可能となり、設備投資を抑制できる。

**企画調整課** 移住を検討し河津に来た人から問合せが来ると思うが、どのような

実務を行うと言うように2課でやっている市町はあるのか。また、このような課の配置だと、町民が混乱するのではないかと課を分けるのであれば同じフロアでやるべきでは。

**課長** 南伊豆町では2課でやっているが、隣接した課になっている。窓口としては、転入者、転出者など届出が出された方には、異動票をコピーして健康福祉課へ誘導している。

**教育委員会** デスクトップからタブレットに切り替えるが利用方法の説明を。

**事務局長** デスクトップパソコンはパソコン教室のみの使用。タブレットになると持ち運びができ、学校にWiFi環境を導入してあるので、各教室へ持って行って授業に使ったり、校舎より外へ持ち出して写真等を取り込んで、教室で授業等に

## 意見書

1. 観光基本計画の策定を目指し、積極的な観光政策を推進されたい。
2. インバウンド対策として、既存のフリーWiFiを含め、利用しやすいWiFi環境に改善されたい。
3. 伊豆縦貫自動車の整備が急速に進んでいる。インターチェンジ供用開始に向け、町全体の活性化を、より強力に推進されたい。

# 町政を問う

# 一般質問



わたなべ ひろし 議員  
渡 邊 弘



河津川河口

質問：四月から六月にDESTINEーションキャンペーンが本番を迎える。河津はどんなものを売り込み集客のアピールをしたか。イベントは費用がかかるが対応はできるか。町長：大きなチャンスを生かし、観光協会と連携し取り組む。費用はそれぞれ対応していきたい。

質問：移動知事室に漁業者より流木、ごみ、土砂の流出の問題が指摘された。町としてどのように対応するか。町長：県地域局で下田土木事務所や伊豆河津会議があるそうです。特別チームを設置して取り組む方針が示されている。町、国、県、

各種団体が参加した会議を進める。質問：漁業者の声を町として届けていただきたい。将来、山、川、海、環境を町として取り組む必要がある。町長：当然皆様の要望は県にしっかり伝えたい。大きな問題なので、関係機関が出て、対策が必要。

**答え** 観光事業のチャンスを生かす。町として県に伝える

**質問** DESTINEーションキャンペーンの取り組み・谷津地域の漁業環境

質問：町長より重点テーマの提示がされた。1、子育て教育環境の充実と強化 2、防災減災対策 3、観光地としてのグレイドアップ 4、行政運営の効率化と開かれた行政、具体的な取り組みは。又予算編成の目標は。町長：町民生活に密着した堅実、着実型の事業に

向けた計画準備予算。幼稚園三歳児の預り保育を開始する。四歳五歳児は午後六時まで延長できるようにする。災害時の緊急情報システムの導入、縄地地区防火水槽の設置。インターチェンジ周辺の振興計画及び河津桜まちづくりプランの策定をする。ふれあい町長室は取

りやめる。質問：医療費が高校生まで無料になった。子供たちの健康管理のため予防接種事業が進んでいない。教育委員会、学校、町、校医と協議をし取り組んでほしい。町長：医療費の負担が増えている。任意でお願いをしたい。

**答え** 堅実・着実型の各種計画準備予算

**質問** 31年度予算の方向性

# 町政を問う

# 一般質問



玉城町元気バス（デマンドバス）車両



みやざき けいじ 議員  
宮 崎 啓 次

質問：河津駅周辺住民、買い物客、観光客の安全をどうお考えか。町長：津波が想定されるのでまず高台に逃げていただく。城山公園の避難指示、河津中学校方面への避難が示されている。総務課長：新年度に路面表示の誘導標識を設置し、誘導対策を図る。質問：年配の方の中には

城山への避難をあきらめている方々がいる。駅周辺に避難施設が必要ではないか。町長：駅の近くにそういう避難する場所があれば検討する。将来的に既存の高層施設の活用も考えたい。質問：公益法人鎮守の森プロジェクトから津波被害の軽減の為、町長に防

潮林の提案があった。南小グラウンド川側にL字形、浜国道の天城側2カ所だが。町長：県、地域協議会で河口部かさ上げを計画。防潮林は海の近くが効果があるのではないかと。学校は子供達に避難して頂くのが優先。鎮守の森は事務局の方と話し合い出れば、今後検討する。

**質問** 地震防災についての対策は

**答え** 河口部のかさ上げ、路面表示の誘導表示を設置

**質問** 公共交通についてデマンドの考え方は

**答え** 町バス運行状況を検証し、新たな方法も検討中

質問：デマンドバス方式で三重県玉城町では医療費が千万円以上削減、南伊勢町では住民、観光客が利用できる。当町でも根本的に見直す時期では。町長：町の公共交通会議で新たな方法も検討している。バス営業路線との

競合等、今後の検討課題。質問：バス路線との並行路線は時間帯により、運行システムでバス路線を優先出来る。天城路線は伊豆市と支援する体制を明確に。大きな住民サービスのデマンドの考えは。町長：効率的な一つの方

法であると思う。しかし、東海バスの天城路線が平成26年から赤字路線であり、維持するため国の補助事業をバス会社が申請する。この点も含め、この方式は費用対効果の問題がある。今後、議員と一緒に検討していきたい。

# 町政を問う

# 一般質問



うえむらかずまさ  
上村和正 議員



縄地地区 県道予定地

# 町政を問う

# 一般質問



わたなべまさあき  
渡邊昌昭 議員



伊豆農業研究センター指導員によるジョイント仕立ての指導

## 質問 小学校の統合と小中一貫教育について

### 答え 教育活動に支障がないよう対応する

質問：小学校統合の行程と小中一貫教育をどのように考えるか。

教育長：環境整備委員会の答申で「早急に学校を建設し、統合されたい」とのことで定例教育委員会で議論し、幼稚園、保育園、3小学校のPTA役員等に説明会を実施した。

質問：新河津町教育大綱と一貫教育についてどう考えるか。

教育長：31年度は現在の大綱の最終年度で翌年度からの見直しの年となる、協議を重ね、河津の教育方針を定めていく。

教育長：小中連携のパイプを太くしつつ、共有の部分を開く密接にしていくことを継続していきたい。

## 質問 河津桜切り枝販売について

### 答え 産地化を目指していく

質問：初年度の販売状況は。

企画調整課長：JA伊豆太陽の協力を得て、花き市場に4回420本を出荷した。当初の見込みより安価だった。市場関係者からは発祥の地のブランドとして、期待する評価をうけた。

質問：報道や町民の反応は。

企画調整課長：新聞等で報道してもらい、広報かわづでも掲載され、数名の方から問い合わせがあった。役場横の圃場でモデル栽培講習を行い少しずつだが町民に浸透していると考える。

町長：今後は町の補助制度の活用と生産者の確保、

と今後の計画は。

企画調整課長：新聞等で報道してもらい、広報かわづでも掲載され、数名の方から問い合わせがあった。役場横の圃場でモデル栽培講習を行い少しずつだが町民に浸透していると考える。

町長：今後は町の補助制度の活用と生産者の確保、

## 質問 電力自由化の調査、検討は

### 答え 災害関連の薄い建物は、検討してみたい

質問：町有施設電気料はいくらか。

総務課長：平成29年度決算で、4414万円となっている。

質問：東京電力でなければならぬ理由は。

町長：公共施設は避難所となり、災害時における電力供給が重要。送電線や配電線を所有している東京電力が一番確実に対応できると想定している。

総務課長：新電力会社の運営状況を注視して、信頼性が確保された段階で対応を考えたい。

質問：災害影響の出ない場所から調査すべきでは。

町長：今後導入については、多方面から検討していきたい。

質問：いつまでに検討結果を出すのか。

総務課長：経費削減面からも、出来るだけ早いうちに調整させていただきたい。

## 質問 県道落合縄地線の進捗状況は

### 答え 河津側55メートルで築造工事が行われている

質問：この事業総額、これまででの費用、次年度予算及び事業完了見込みは。

建設課長：一般県道河津・下田線3・3キロは、河津側で440メートルが路線決定している。この事業費は、市町境、峠区間1・2キロの区間を除き56億円で、現在までの予算執行額は29億円、平成31年度予算は1億円と聞いている。事業完了見込みは、市町境、峠区間を除き10年後を目指している。

質問：早期に完成すべきと考えますが、町として事業に積極的に協力していくのか。

町長：土木事務所と用地確保や改築説明会について協力、推進している。平成7年からの事業であるが、今後も連携しながら取り組んでいく。

質問：この他に、基金による奨学金返済免除、総合戦略における観光振興について質問した。

# 町政を問う

# 一般質問



しお だ まさはる 議員  
塩田正治



縦貫道通過地点から見た湯ヶ野の里

質問：小鍋から天川までの赤道を遊歩道整備できないか。伊豆縦貫自動車道からも良く見えて、花時計や花看板などを備えたポケットパークを併設すると呼び込みにも役立ち、観光、防災、地域振興等あらゆる面で有効活用できると思うが。

町長：インターチェンジ周辺の活用策とも重なる。まずは目的、費用対効果、優先順位、現況把握、地元要望、あるいは地区計画等の整合性などいろいろな条件を検討しなければならぬ。特にインターチェンジ周辺活性化対策の地区であるので、その計画との整合性を見極め、今後の方針を決め

答え IC周辺活性化対策との整合性を見極める

質問 (仮称)湯ヶ野遊歩道整備をすることはどうか

質問：オール河津で町政運営をしていくにあたり、行政からの情報は、あらゆる方法で伝えられるが、町民の声を上手に吸い上げ反映していくのか。町民の声や提案をしっかりと受け止める新しいシステムを構築してはどうか。

町長：オール河津で行政を進める方針として、町民参加のまちづくりと情報公開を掲げている。小さい町だからこそ力を合わせた時には何十倍もの力を発揮できると思っている。「わたしの声」や「ふれあい町長室」、地区懇談会などを実施し、一貫して子供から成人まで、町民の声を聞く努力をして

答え より一層意見や要望などを聞く機会増やす

質問 「オール河津」町民の声を吸い上げるのか

きた。実例として、今年の河津桜まつりで行ったおもてなしプロジェクトは、昨年のふれあい町長室で提案いただいたものを参考にさせていただいたものです。また企画調整課に広報秘書係を新設し、広聴部分の充実を図っている。

# 町政を問う

# 一般質問



えん どう よし のり 議員  
遠藤嘉規



ヘルプマーク

質問：ヘルプマーク事業は東京都で平成12年から始まっており、県内では昨年からの取り組みを始めた。町内では認知している人が極端に少ないと感じる。関東圏からも多くの来客がある観光の町として、積極的な認知が必要と考えるが町の認知、周知状況と配布状況、今後の認知向上対策は。

町長：ヘルプマークとは援助や配慮を必要としている事が外見から分らない方々が、周囲の方に配慮を必要としている事を知らせる事で、援助を得やすくするようにと作成されたマークである。この制度は利用者や周囲の人が理解しなければ成立しないので、どのように理解を得るよう進め

答え 県と連携を取り対応を考えていく

質問 ヘルプマーク認知向上の対応は

て行くかが今後の課題。県の推進体制を見ながら対応したい。健康福祉課長：町の周知状況は庁舎、学校、図書館等の公共施設へのポスターの掲示を行っている。ヘルプマークの配布状況は、町内で6名の方に配布をしている。

質問 観光地に合った子育て支援の検討は

答え 新年度から一部拡充の方向に進んでいる

質問：主要産業が観光である事を考えると、土日祝祭日、盆暮れ正月等の繁忙期にこそ支援が必要ではないか。

町長：観光関連業種で働いている子育て世帯の方も多いかと想像される。当面は幼稚園における平日や長期休業期間の預かり保育を充実させる方向で、教育委員会や幼稚園と協議を重ね、新年度から一部拡充の方向に進んできている。1点目は、幼稚園の3歳児からの預かり保育。新年度から保護者の就労条件等もあるが、慣らし保育が終了する1学期後から条件付で始める。2点目は、4歳、5歳の預かり保育。仕事等の条件を考慮して、申請に

より18時までの対応と、夏休み等の金曜日にも対応する。なお、3歳児は低年齢である事から、従来と変わらず16時半でお願いしたい。また、放課後児童クラブの利用者が増加する夏休み対策として、体育館横に隣接する町の住宅を改修して対応したい。他防災関連1件

議会だより第81号

# 読者アンケート

抽選で5名様に  
「河津踊り子温泉会館入浴券」  
プレゼント!!

お名前 \_\_\_\_\_  
 ご住所 \_\_\_\_\_  
 ご連絡先 \_\_\_\_\_

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。

お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAXあるいは郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り  
5月末日必着

- FAX送付先：下記参照
- 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2  
河津町役場 議会事務局 議会だより読者アンケート係  
※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。  
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2-3P 町長の施政方針・行政報告  4P 定例会要旨  5P 議案説明  
 6P 予算審査特別委員会  8P～一般質問  16P 一部事務組合  17P 常任委員会活動報告  
 18P 議会の動き・私も一言

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足  2. まあまあ満足  3. もう少し  4. 不満

Q4 議会だよりの難易度は、どのように感じますか？（□にレ点をつけてください。）

1. やや簡単  2. ちょうど良い  3. やや難しい

Q5 あなたの属性を教えてください。（□にレ点をつけてください。）

- 年代：□20歳以下 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70歳以上  
 性別：□男性 □女性  
 業種：□農業 □漁業 □林業 □工業 □商業 □観光業 □その他（ ）

Q6 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 0558-34-1957

## FAX番号 0558-34-1405

## 町政を問う

## 一般質問



満開の河津桜原木



おおかわよしき 大川良樹 議員

質問

ふるさと納税、新年度予算1千万円増、予算達成可能か

答え 新たなプラットフォームを導入、新規利用者の開拓

質問：新年度予算、ふるさと納税、寄付金額の歳入予算が1千万円増額しているが、今後予算達成に向けた返礼品の展開、情報発信をどのようにしていくのか。  
企画調整課長：昨年、新たな返礼品の取り組みとして、河津フラワートラ

イアスロン大会優先出場権利を10件設け、全てご利用いただいた。現在「ふるさとチョイス」で返礼品の魅力発信をしているが、新たなプラットフォームを導入し、利用者が増加しているマルチペイメント決済の充実をはかり、更に新たな寄付者

の開拓をしていく方針です。  
質問：河津型クラウドファンディングをつくり今後の事業展開に活用できないのか。  
企画調整課長：河津町に適応する事業があるかどうか情報を集めたい。

質問

「河津桜サミット」の開催について

答え 検討に値する案件

質問：河津桜は、河津町の1本の原木から日本全国に広まり、今や自然災害の復興復旧のシンボルとして、各地で利用され河津桜はもとより、河津町を全国区へと押し上げてくれており、これだけ広まった河津桜を通じて点と点となつている各地域、自治体それらとを結ぶ「河

津桜サミット」の開催を、第30回河津桜まつり記念大会のイベントのひとつにできないだろうか。  
町長：近年、苗が全国に広まり、各地で河津桜が咲くと新聞等でも話題になり、これらの自治体からも交流のお問い合わせをいただくが、現実的に数も多い為、対応しきれ

ていない、しかし、今後は町行政だけでなく、例えば河津桜交流協会と言った様な交流組織的なものを立ち上げ、行政と民間諸団体が一緒になり、河津桜を通じた交流が可能ならば、検討に値する案件だと思う。

# 一部事務組合報告

## 下田地区消防組合議会

東伊豆町を除く賀茂5市町で作る下田地区消防組合議会は2月21日、消防本部で定例会を開き、平成31年度会計予算や組合職員の給与条例の一部改正など5議案を原案どおり可決した。

●議案第1号  
監査委員の選任について改選に伴い空席となっていた議員選出監査に遠藤嘉規議員を選出した。

●議案第2号  
下田地区消防組合公告式条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第3号  
下田地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第4号  
平成30年度下田地区消防組合会計補正予算(第2号)

防組合会計補正予算(第2号)  
歳入歳出それぞれ39億4千9百万円を追加し、総額を12億3766万2千円とする。

●議案第5号  
平成31年度下田地区消防組合会計予算  
平成31年度予算は前年度当初比5・75%増の12億7262万7千円。通信指令施設情報設備更新工事に7千万円、下田消防署と河津分署の救急車2台更新に6300万円を計上した。

事業報告として火災発生件数は計6件、救助出動件数24件、救急出動件数は2075件で、搬送人員は1950人。河津町では251人搬送されている。

## 伊豆斎場組合議会

2月20日定例会が開催された。下田市、河津町、東伊豆町、南伊豆町で組織する組合で、管理者の福井市長より、行政報告があり現在施設の老朽化の問題も報告された。

議案は監査委員の選任、条例改正が3件、平成30年度補正予算、平成31年度予算が出されいずれも可決された。31年度予算は歳入歳出それぞれ4434万8千円とした。

●議案第1号  
S M C公告式条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第2号  
S M C職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第3号  
S M C職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第4号  
S M C介護老人保健施設事業特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第5号  
S M Cの議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●事業報告  
南伊豆・湊病院跡地売買交渉について、土壌改良が必要になり売却額4億2千万円に修正になった。

●議案第1号  
S M C公告式条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第2号  
S M C職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第3号  
S M C職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第4号  
S M C介護老人保健施設事業特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第5号  
S M Cの議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第6号  
平成30年度S M C病院事業会計補正予算(第2号)

●議案第7号  
平成31年度S M C病院事業会計予算

●議案第8号  
平成31年度S M C介護老人保健施設事業特別会計予算

下田メディカルセンター 病院事業会計31年度予算	
収益的収入	3億6,393万3千円
収益的支出	4億208万3千円
資本的収入	6,589万5千円
資本的支出	1億6,636万8千円
一部事務組合S M C介護老人保健施設事業特別会計予算	
歳入	1億343万8千円
歳出	

## 東河環境センター議会

平成31年2月27日第1回定例会が開かれた。2件の議案が提出され、いずれも原案どおり可決された。

●議案第1号  
平成30年度会計補正予算(第2号)

歳入歳出の総額から709万円を減額し、歳入歳出それぞれ19億4126万円とする。塵芥処理費の減額によるもの。

●議案第2号  
平成31年度会計予算  
歳入歳出の総額はそれぞれ18億5千80万円とする。国庫支出金5億7千629万9千円、地方債6億9千560万円を含む。

継続費として、焼却施設基幹的設備改良工事に31年度分13億9千507万5千円が含まれる。

## 学校施設エアコン設置議案可決

平成31年  
第1回河津町議会臨時会  
2月15日に開催し、特別職の職員の給与の減額に関する条例及び、一般会計補正予算が審議された。

歳入歳出それぞれ7195万円が追加され、総額を歳入歳出それぞれ39億9220万2千円を可決した。  
主な内容は、小中学校及び幼稚園空調設備設置工事関連費用である。



猛暑の授業風景

## 平成31年度 河津駅前広場管理運営委員会

2月1日に役場庁舎で委員会が開かれた。平成31年度予算は、歳入歳出予算それぞれ438万円。平成30年度 駅前広場運営基金残高2089万円(見込み)

伊豆急行株式会社より河津駅旅客トイレ改修に伴う支援の要望書の説明を受けた。  
概算工事費1000万円。工事内容・和式便器の洋式化(4ヶ所)・多目的トイレの増設(1ヶ所)・内外装の塗装等

## 平成30年度 河津町立文化の家運営協議会

3月13日生涯学習室で開かれ、第二常任委員長が出席した。  
平成30年度の事業報告、利用状況について説明が

あり、次いで平成31年度事業計画についての説明がなされた。

読書活動推進事業をはじめ、ブックスタートおはなし会事業、館内テーマ展示、学校図書連携事業、研修・ボランティアの受入れ等先進的な事業に取り組み、人口減少が進む町内状況下の中、利用率並びに貸出し数を減少させることなく運営していく。上程された議案については、原案通り全て承認可決された。

## 賀茂郡町議会議員研修会

2月7日、当町にて「町村議会を取り巻く状況」と題して、全国町村議会議長会三宅達也部長によって講演が行われ、全議員が出席した。

議会の抱える課題、最近の地方議会をめぐる動向、本議会の運営における留意点、議会の活性化・取り組みの説明を受けた。憲法、自治法、会



研修会の様子



議長 貴 屋 土 ち

### 議会の動き

#### ● 議長の活動

1月

- ・ 県地方議会議長連絡協議会 第2回政策研修会 (静岡市)

2月

- ・ 賀茂郡議長会臨時総会 (南伊豆町)
- ・ 県町村議会議長会総会 (御殿場市・小山町)

#### ● 町議会の活動および常任委員会活動

12・1・2月

- ・ 例月出納検査報告
- ・ 議会広報編集委員会

12月

- ・ 「年末交通安全県民運動」街頭広報

1月

- ・ 河津町消防団出初式
- ・ 新春賀詞交歓会
- ・ 河津町成人式

- ・ 河津町国民健康保険運営協議会

2月

- ・ 河津駅前広場管理運営委員会

- ・ 郡町議会議員研修会

- ・ 東河町議会交流会

- ・ 第29回河津桜まつりオープニングセレモニー

- ・ 白馬村民号歓迎交流会

#### 第1常任委員会

- ・ 第2回河津町地域公共交通会議

- ・ 視察事前研修会

- ・ 公共交通に関する視察研修 (三重県玉城町・南伊勢町)

#### 第2常任委員会

- ・ 第2回河津町青少年問題協議会

- ・ 小中一貫教育に関する視察研修 (沼津市・浜松市・静岡市)

#### ● 議長に要請の諸会合

12月

- ・ 伊豆今井浜病院交流会

1月

- ・ 伊豆縦貫自動車道天城北道路開通式 (伊豆市)

3月

- ・ 第22回伊豆文学賞 表彰式・伊豆文学塾 (伊豆市)

### 「私言」

河津町災害ボランティアコーディネーター連絡会副会長  
板垣秀実さん

災害ボランティアコーディネーター連絡会(以下「連絡会」)は、災害ボランティア本部(以下「災ボラ本部」)の運営に協力する有志の団体です。地震や台風などの自然災害で町内が大きな被害を受け、災害ボランティアの手助けが必要な場合は町に災ボラ本部が設置されます。

部の主な仕事は、町民からの支援要請を取りまとめ、ボランティアを派遣することですが、そのために必要な諸々の作業がいろいろあります。現在、連絡会の会員は十数人ですが仕事で出られない人が多く、万が一の時に不安があります。ここで、拙文を読んでもれたあなたにお願いです。連絡会で一緒に活動しましょう。加入は無理でも、災害が起きたときには災ボラ本部の運営に協力をお願いします。

災ボラ本部は社会福祉協議会が運営しますが、少人数の社協職員だけでは数多くの業務に対応しきれないので、他市町の社協職員や連絡会の会員が手伝います。災ボラ本

部は、町民からの支援要請を取りまとめ、ボランティアを派遣することですが、そのために必要な諸々の作業がいろいろあります。

現在、連絡会の会員は十数人ですが仕事で出られない人が多く、万が一の時に不安があります。

ここで、拙文を読んでもれたあなたにお願いです。連絡会で一緒に活動しましょう。

加入は無理でも、災害が起きたときには災ボラ本部の運営に協力をお願いします。

災ボラ本部は社会福祉協議会が運営しますが、少人数の社協職員だけでは数多くの業務に対応しきれないので、他市町の社協職員や連絡会の会員が手伝います。

災ボラ本部は、町民からの支援要請を取りまとめ、ボランティアを派遣することですが、そのために必要な諸々の作業がいろいろあります。

現在、連絡会の会員は十数人ですが仕事で出られない人が多く、万が一の時に不安があります。



災害ボランティア本部設置訓練

### 編集後記

議会広報編集委員会では、町民の皆様が、身近に感じる「議会」を指し、「議会だより」をわかりやすい編集に心がけ、発行したいと思えます。多くの皆様のアンケートお待ちしております。(大川)

#### 議会広報編集委員会

- 委員長 上村和正
- 副委員長 大川良樹
- 委員 桑原 猛
- 渡邊昌昭
- 遠藤嘉規

定例会の日程は、河津町ホームページでも確認できます。

議会だよりは、年4回(2月、4月、7月、

10月)発行しております。

次回は7月発行予定です。

河津町中212-2

bikai@town.kawazu.

shizuoka.jp

shizuoka.jp

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。